

276) 白いキャンバス

月日は過ぎて少し心は癒えたけど

あなたの横顔忘れられない

ふたりで歩いた<sup>れんがどお</sup>煉瓦通りの桜並木や

小雨に濡れたベンチの色まで 思い出されてくるのです

通りすぎてくこの哀しみも やがてはみんな思い出になる

だから今日からまっ白い キャンバスに明日の倅せ描きましょう

月日は過ぎて少し空しさ癒えたけど

あなたの<sup>ぬく</sup>温もり忘れられない

ふたりで過ごした喫茶店での長い時間や

一緒にのんだ紅茶の味まで思い出されてくるのです

通りすぎてくこの哀しみも やがてはみんな思い出になる

だから今日からまっ白い キャンバスに明日の倅せ描きましょう

月日は過ぎて少し心は癒えたけど

あなたの優しさ忘れられない

ふたりで交わしたファーストキスの甘い香りや

ワイングラスのふれあう音まで思い出されてくるのです

通りすぎてくこの哀しみも やがてはみんな思い出になる

だから今日からまっ白い キャンバスに明日の倅せ描きましょう

